

政策の最先端



市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）では、「政策の最先端」と題した研修を下記のとおり開催します。

新型コロナウイルス感染症対策や地方創生、デジタル化、SDGsなど、市町村をめぐる最先端の政策を学ぶことにより、社会経済情勢の変化に的確に対応した政策立案能力の向上を目指します。

この研修は、申込期限までに定期人事異動の関係で受講者を確定できない場合でもお申込みいただけます（<https://www.jamp.gr.jp>参照）。

多くの皆様の御参加をお待ちしております。

日程	令和4年5月11日(水)～5月13日(金) (3日間)
申込期限	令和4年4月12日(火)
対象	市区町村職員 中堅職員以上 ※企画に関する事務を担当する職員を対象とします。
定員	50名
経費	6,200円 食費を除きます。また、教材用図書費が別に必要となる場合があります。
申込方法	当研修所ホームページの「募集中の研修」より申込みを希望する科目を選択し、「電子申込み」で申し込んでください。（「電子申込み」が難しい場合には、「研修受講申込書」に必要事項を記入の上、FAXにより送信してください。）
場所	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）

問合せ先 ♣♣♣♣♣

市町村職員中央研修所 研修部 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田1-1
TEL 043-276-3126 FAX 043-276-8484 URL <https://www.jamp.gr.jp>

※記載内容については、都合により変更となる場合があります。あらかじめ御了承ください。

5月11日/水

11:00 - 12:40	受付	13:10 - 13:50	開講式・オリエンテーション
14:00 - 15:00	講義		地域政策に係る法制度や最新の動向等について学びます。
	地域政策の動向		
	総務省地域力創造グループ地域力創造審議官 馬場 竹次郎 氏		
15:10 - 16:20	講義		地方創生の意義や現状・課題、市町村の役割等について学びます。
	地方創生の現状と課題		
	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 地方創生総括官 高原 剛 氏		
16:30 - 17:40	講義		新型コロナウイルス感染症対策に係る国の動向や市町村の役割等について学びます。
	コロナ対策と自治体の役割		
	総務省自治行政局新型コロナウイルス感染症対策等地方連携推進室地方連携総括官 大村 慎一 氏		

5月12日/木

9:00 - 10:20	講義		行政のデジタル化の意義や国の動向、自治体の役割等について学びます。
	行政のデジタル化の推進		
	デジタル庁統括官 篠原 俊博 氏		
10:40 - 12:00	講義		ダイバーシティの意義・課題や自治体の役割等について学びます。
	ダイバーシティの推進		
	ダイバーシティ研究所代表理事 田村 太郎 氏		
13:00 - 14:10	講義		SDGsの意義や最近の動向、自治体の役割、先進事例等について学びます。
	SDGsと自治体の役割		
	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教 高木 超 氏		
14:25 - 15:35	講義		格差・貧困の現状や生活困窮者支援の取り組み、自治体の役割・課題等について学びます。
	格差・貧困の現状と課題		
	社会活動家、東京大学特任教授、全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長 湯浅 誠 氏		
15:50 - 17:45	討議		各自治体の現状や課題についてグループに分かれて情報交換・意見交換を行います。
	課題解決フォーラム		
	担当教授		

5月13日/金

9:00 - 10:20	講義		日本経済・地域社会の現状・課題や自治体の役割等について学びます。
	日本経済と地域社会の動向		
	日本経済新聞論説委員 斉藤 徹弥 氏		
10:40 - 12:00	講義		官民連携の意義・現状や今後の課題について学びます。
	官民連携の現状と課題		
	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社		
12:10 -	修了式		